

## 地域特産農産物の総ポリフェノール量及び抗酸化能

地域特産農産物について、総ポリフェノール量と健康機能性の一つである抗酸化能<sup>※</sup>を調査した。美方大納言小豆、バジル、ブルーベリー、アサクラサンショウなどは総ポリフェノール量が多く、抗酸化能も高い。また、品種、部位、収穫時期により総ポリフェノール量及び抗酸化能が異なる。

### 内容

地域特産農産物の総ポリフェノール量及び抗酸化能については、美方大納言小豆、バジル、ブルーベリー、クワの実、ブラックベリー、アサクラサンショウでは総ポリフェノール量が多く（267～1063mgカテキン当量/100g）、抗酸化能も高い（1754～6190 $\mu$ molトロロックス当量/100g）。一方、ピーマン、イチジクは総ポリフェノール量が少なく、抗酸化能は低い。丹波黒大豆は総ポリフェノール量が少ないが、抗酸化能は高い（図1）。

部位別に総ポリフェノール量及び抗酸化能を比較すると、美方大納言小豆では種皮部、バジルは上部葉で総ポリフェノール量が多く、抗酸化能が高い（図2）。

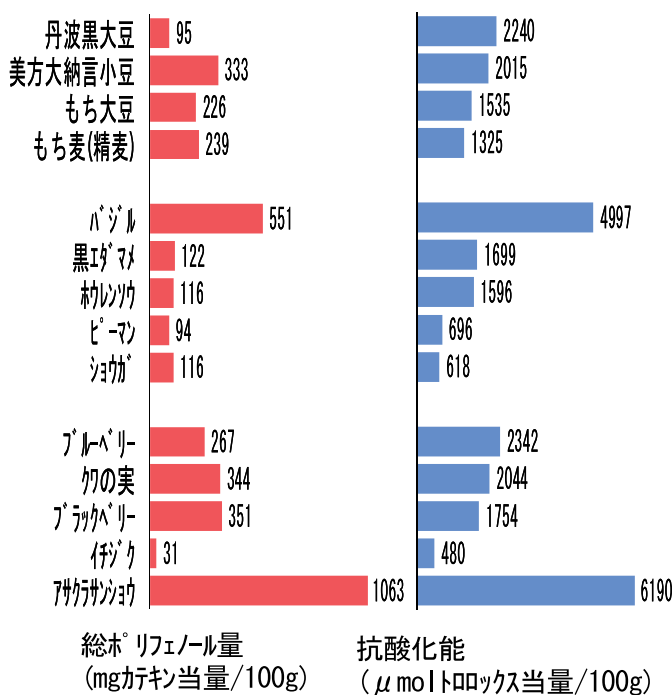


図1 地域特産農産物の総ポリフェノール量及び抗酸化能

ブルーベリーの品種別では、「コビル」、「ジャージー」で（図3）、アサクラサンショウの収穫時期別では、収穫盛期、終期に総ポリフェノール量が多く、抗酸化能が高い（図4）。

### 今後の方針

高ポリフェノール、高抗酸化能農産物について、ポリフェノール含量表示や抗酸化能表示により消費者啓発を図る。

田畑 広之進（北部 農業・加工流通部）  
（問い合わせ先 電話：079-674-1230）

<sup>※</sup>抗酸化能：体内で有害な活性酸素の発生を抑制する能力。抗酸化能の高い食品の摂取により、生活習慣病（高血圧等）、老化、がん等の予防が期待されている。

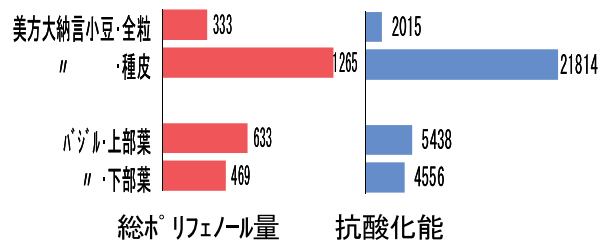


図2 部位別の総ポリフェノール量及び抗酸化能



図3 品種別の総ポリフェノール量及び抗酸化能

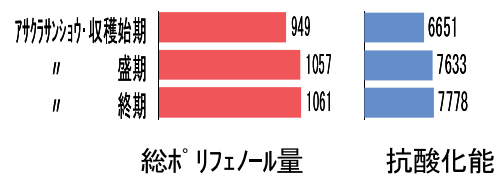


図4 収穫期別の総ポリフェノール量及び抗酸化能